

# 『社会で強く生きぬく子どもの育成』

もっと未来へ わくわくする未来へ歩みだそう

## 学校だより『ふこの』

第004号

令和7年5月22日

大東市立深野小学校

校長 世尾 秀和

### ◆4年生、6年生校外学習へ

4年生と6年生がそれぞれ今年度最初の校外学習に行きました。深野小学校では4年生が大阪・関西万博の会場への校外学習、6年生は奈良公園を設定しました。全学年が校外学習として万博会場に行くことができればよいのですが、先日ご案内した内容にてご理解いただければ幸いです。

4年生以外のご家庭にはお子さまの万博招待チケットを5月はじめにお送りしておりますのでぜひご検討ください。

また、6年生の校外学習は奈良公園に行きましたが、今回は来年、中学校等へ進学することなども含め、仲間との協同、自分で考え行動する力を育むという観点より、現地までグループでの探索移動を試みました。安全を確保したうえでの取組みではありましたが、子どもたちはしっかりとルールとマナーを守りながら、期待以上の行動をしてくれたと思います。

これからその他の学年でも校外学習を行っていきますが、学校教育目標としております、「社会で強く生きぬく子どもの育成」に繋がるよう、いろいろな取組みに挑戦していきたいと考えております。



## ◆あいさつや返事は自分のため

毎朝、登校時や教室で先生や友だちとあいさつを交わしている場面を見ます。よいあいさつができるということはとても素晴らしいことだと思います。深野小学校でもよいあいさつができるように、いろんな場面であいさつの大切さを伝えており、登下校時も見守り隊や保護者の方にも子どもたちに日々声掛けをしていただき感謝しております。

その一方で、まだまだあいさつが苦手だったり、恥ずかしいと思う子どもたちもいます。そもそもあいさつや返事は誰のためにするもののでしょうか。皆さん、どう思われますか？

あいさつや返事は相手に向かって行うことから、相手のためにするものだと思いますが、相手のためだけでなく、自分のために行うものでもあると考えます。あいさつや良い返事ができると、相手の人が自分をほめてくれたり、自分のことを認めてくれたりします。自分にとってもたくさん良いことがあるのが、あいさつではないでしょうか。

これから先、中学校、高校、社会においてもあいさつや返事は求められます。深野小学校に通っている間に、素晴らしいあいさつや素晴らしい返事を身につけたならば、それはこれからずっと子どもたちの財産となり、子どもたち自身を守り、助けてくれるものになると思います。

あいさつや返事は、相手のためでもあり、自分のためでもあると子どもたちが思い、あいさつや良い返事ができるよう、取り組んでいきたいと思います。各ご家庭でもぜひ、このことを話題にしていいただければ幸いです。

### 「あいさつは、いつでも、どこでも、何度でも」

## ◆学校行事の服装等について

毎年ご案内をさせていただいておりますが、卒業式については、ご準備等も検討されている時期かと思っておりますので、改めてのお願いとなります。学校行事での子どもたちの服装について、華美にならないようお願いいたします。特に卒業生の服装については袴や振袖などの和装は着崩れを起こしたり、式中の移動の際につまずいたりして危険です。また、子どもたちも和装等は着慣れないことから体調不良等にも繋がる恐れもあります。あわせて、運動会、文化発表会等についても派手な髪型、フェイスマイク等はお控えください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ◆学校ホームページについて

日々、学校生活や子どもたちのがんばる姿などをホームページを通じて可能な限りお伝えできればと考えております。「大東市立深野小学校」で検索いただくとホームページにて活動の様子がご覧いただけたり、学校だより等も添付しておりますのでスマホやパソコン等からも見ることができます。ご多用かとは思いますが、お時間があるときに学校生活をご覧いただければ幸いです。

尚、引き続き、お子さまが写っている画像などにおいて不都合等がございましたら学校（教頭）、または担任の先生までお知らせください。